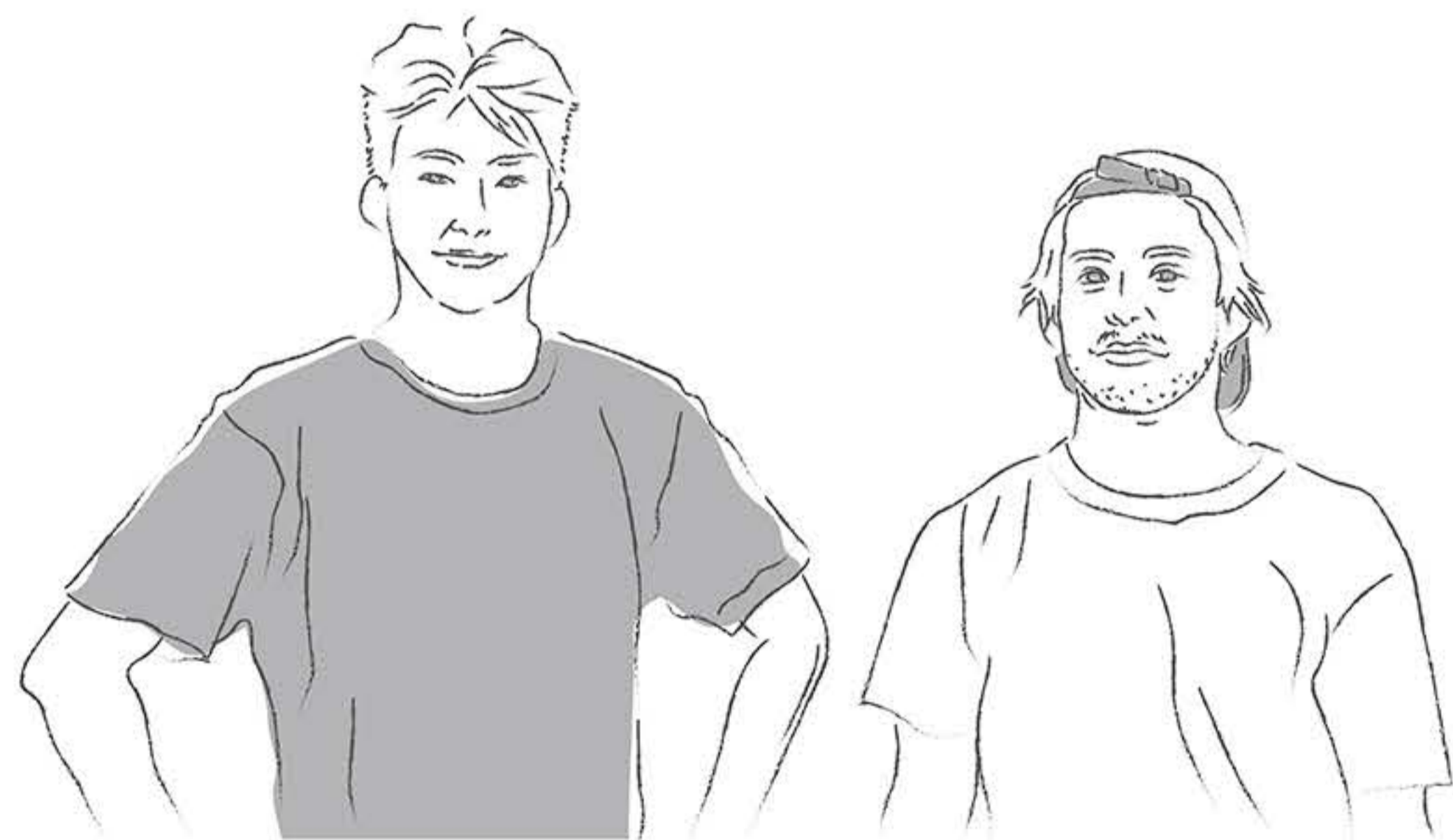


# NEUTRAL 通信 vol.3

「まるで本屋に立ち寄るかのように、アートやクラフトを気軽に楽しんでもらいたい」  
という NEUTRAL のコンセプト実現に向け、NEUTRAL 通信を発行しています。  
NEUTRAL 通信が作品鑑賞のヒントとなりますように。

## 行き止まり冒険記 展

2022.9.3 sat. - 9.19 mon.



前田耕平 / KOHEI MAEDA

葭村太一 / TAICHI YOSHIMURA

人や自然、物事との関係や距離に興味を向けて、自身の体験を手がかりに、映像やパフォーマンスなど様々なアプローチによる探求の旅を続けている。プロジェクトに南方熊楠の哲学思想を追った「まんだらぼ」や、愛の形を探る「Love Noise」などがある。

近年の展覧会に「パンガシアノドンギガス」京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA (2019年 / 京都) 個展、「紀南アートウィーク 2021」南方熊楠顕彰館 (2021年 / 和歌山)、「群馬青年ビエンナーレ 2021」群馬県立近代美術館 (2021年 / 群馬県) など。

日常に溶け込んでしまった“痕跡”に焦点を当て、その奥に存在するであろう目には見えない不確かな部分から作品を制作している。忘却し消えゆくものの時間を保存し、時間感覚の本質を問いかける。

主な展覧会に、「34°40'33"N135°29'55"E」Marco gallery (2022年 / 大阪) 個展、「Imitation or mimic」千鳥文化ホール (2021年 / 大阪) 個展、「REACTION」VOU (2020年 / 京都) 個展、「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2019」記念碑台 (2019年 / 兵庫) など。

## 堀川新文化ビルディング 館内インフォメーション

大垣書店  
OGAKI BOOKSTORE



SHOKODO  
KYOTO

NEUTRAL

Gallery P A R C  
GRAND MARBLE

世間では夏休みも終わり、色々な店先では秋の気配が感じられる季節になりました。お出かけしやすい気候が楽しみですね。そんなお出かけのお供に、一冊の本を堀川新文化ビルディング店でお買い求めいただければ幸いです。

引き続き『大垣書店 80 周年記念限定オリジナルブックカバー』配布しております!!

営業時間: 10:00~22:00 TEL: 075-431-5551

京都初! 皮まで食べられる国産バナナ!? SLOW Pageではたいへん希少な農薬不使用で国産の“京都はんなりバナナ”を使用した【はんなりバナナジュース (¥780)】を数量限定で販売中! 京都府亀岡市にて育てられた、人にも環境にも優しいバナナです。バナナの上品な甘みが際立つ一品に仕上がっております。お立ち寄りになられた際はぜひご賞味ください!!!

営業時間: 8:30~23:00 TEL: 075-431-5551

印刷会社「修美社」が運営する印刷工房。本屋の中で本づくりから販売展示の提案をしています。

「抽象的静物」岡田将充 / Okada Masamitsu

2022.8.18 thu. - 9.20 tue.

3DCG を用いたグラフィック / アートワーク作品の展示を行っています。

営業時間: 10:00~18:00 TEL: 080-4248-3432 月・日祝 定休

[NEUTRAL] 「行き止まり冒険記」展 前田耕平 / 葭村太一  
2022.9.3sat. - 9.19 mon.

[EXTRA-NEUTRAL] 「FLOTSAM」彌永ゆり子  
2022.09.10 sat. - 09.28 wed.

営業時間: 10:00~19:00 TEL: 075-431-5537

「NEW INTIMACIES -WILD WILD WEST-」  
2022.9.11 sun. - 9.25 sun.

営業時間: 13:00~19:00 TEL: 075-334-5085 水・木 定休



〒602-8242 京都府京都市上京区皂莢町287

[アクセス]

○地下鉄東西線「二条城前」駅より徒歩15分

○京都市バス9番・12番・50番・67番系統

「堀川中立売」バス停下車徒歩1分

○駐車場・駐輪場あり

※満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。



ホームページ



Instagram

お問い合わせはHPまで



—— どんな子供時代を過ごしましたか？

⑥ 実家が田舎だったんですけど、普段は学校が終わって毎日、神社とか山とか、どこかで鬼ごっこするとか外で遊ぶことが多かったですね。あと、川や野池も多くて釣りにハマっていました。物をつくるのも好きで、一回完成させたものを壊して別のものを作ったりしていました。

⑦ 僕は、鍵っ子で、1人っ子で、おじいちゃん子でした。家に帰ったら夜までは親がいないので、よく祖父に遊んでもらっていました。祖父は大工だったんですけど、一緒に釣りに行ったり、行き止まっている山にガンガン入って探検し、食べられるものを教えてもらったりしました。中高生の頃からはカメラを持つようになって、使い捨てカメラを1か月に1個買って、1日1枚写真を撮るなどしていました。高校生になるとホームビデオを親父に買ってもらったので、シナリオを立てて映像を撮ったり、防水カメラだったので水の中で魚を撮ったりしていました。

—— 作家になろうと思った決め手はありますか？

⑧ 僕が作家になろうと思ったのは遅くて、物をつくったりするのが好きなことがきっかけで美大に行きたいなと思ったんですけど、就職を考えるならデザインの勉強をしたほうがいいんじゃないかと思いデザイン学科に行きました。学生時代も自分が本当にやりたいことがデザインなのか少し疑問はあったんですが、結局小さなデザイン事務所に就職しました。ただそこでやっぱり違うってなって。そのあと芸大とか美大を目指す人が通う画塾で先生をしたり専門学校で講師をしたりしていました。28歳くらいのおき今はもうないんですけど、心齋橋のSIXというスペースで加藤泉さんの彫刻を見た時、異様な物体が存在するという感覚がすごく刺激的で、働いていた画塾も辞めて、30歳くらいのおきに制作をはじめました。

⑨ 僕は元々教師になりたくて、大学では中学と高校の美術教員免許をとるための授業を受けていました。でも4回生のときに大学に留学の制度ができて、教職の授業を一旦やめてフランスの美術学校へ留学に行きました。パリのボザールという学校なんですけど、そこで出会った人たちの中には現代美術をやっている人がいて。僕はいわゆる現代美術というものには触れたことがなくて。僕はそのころ絵画を描いていたんですけど、そこではパフォーマンスと絵画を組み合わせたことをやって、日本に帰ってきました。パリでは宮坂直樹くんという作家に現代美術についてを教えるもらって。そこから京都の大学院にいったってコンセプチュアルアートについて考えました。そもそも作家やアーティストとは？ と自分の活動自体を意識するようになりました。

—— 今回の作品の背景や構想について教えてください。

⑩ 僕は作家になろうって思って彫刻を始めたんですけど、「別に彫刻だけに絞らんでもいいかな」とずっと思っていて、テーマとかそのときに感じたことを全部彫刻に落とし込むのは無理やりすぎるし、今回は別の表現でもいいかなと思うタイプなんです。前田くんとは3年くらい前に出会ったんですけど、そこから気付いたら仲良くなって、しょうもない話とか遊んだりする仲になったかな。小説の中にも書いてあるんですけど、公園でビールを飲みながらふざけた話をしながら「こんなことがしたい」「あんなことがしたい」と話が盛り上がって。とにかくリサーチしようかという流れで見つけたのが行き止まりになった石の階段です。そこからどんどん話が進んでいきました。真面目に考えてはいるのですが、遊びの延長上のような感覚です。

⑪ そうですね。僕も太一君も小説というメディアは初めてだったので、本を作ること自体の難しさとか、遊びでやってるけど真剣にやらないと大ケガするという感じを存分に味わいました(笑)。山の中でも一歩間違えたら死ぬんやろなという瞬間はあるし、その辺のスリルやギリギリな感じは、太一君だからこそ一緒にできた。不思議というか必然的な組み合わせだったと思います。僕からしたら歳は上ですけど、タメ口で、友達だけど兄貴分、アーティスト仲間、そういう存在の人と共同で制作するというのは僕にとって大きい挑戦で、そういうところも展覧会のなかで見てもらえたらいいかなと。

—— 今の制作環境について教えてください。

⑫ Super Studio Kitakagayaというシェアスタジオで制作しています。いろんな人の意見や考え方も知れる場所なので「これ、こうしたほうがいいんじゃないか」とか意外なことが聞けたり、人がどういふふう制作しているのか見られるので、新鮮なものが見られる環境というか。だから刺激も多いですね。

—— 展覧会についてお客さんに一言

⑬ 行き止まりをどのように“まっすぐ”進むのかを考えるきっかけになったら嬉しいです。



お気に入りの本

◆ 葦村太一 ◆

- 『骨格 (東京大学医学部教授 監修)』
- 『東京ミキサー計画 (赤瀬川原平)』
- 『ドラゴンボール (鳥山明)』

◆ 前田耕平 ◆

- 『妖怪図鑑 (水木しげる)』 僕のバイブルです！
- 『南方熊楠 日本人の可能性の極限 (唐澤太輔)』
- 『生物と無生物のあいだ (福岡伸一)』